

「ネット・スマホ時代の大人の責任と役割」

(株)コムパレット 代表取締役

きりのしまみ
桐野 志摩美 氏



インターネットで簡単に発信ができる現在、意図せず知らず知らずのうちに誰かを傷つけてしまうことがあります。子どもが加害者にも被害者にもなることのないようにするために、大人、特に保護者には何ができるか、どのように子どもに関わっていけばよいのか、最新の事例を基に、最先端の考え方を分かりやすくお話をいただきました。日ごろから悩んでいる保護者も少なくなく、熱心にお話を聞いたり質問をしたりして、あっという間に時間が過ぎました。

参加者の感想

- 一方的にルールを押し付けるのではなく、子どもと話し合っ一緒に考えていくことが大切だと思いました。
- ルールを決めて守ることも大切だが、そのルールを定めた意味や、根本にある課題について子どもと話すことが大切だと感じました。
- 家庭によってルールが違うので、ずれが生じるのが悩ましいところではあります。
- スマホのルールに制限をかけすぎると、中・高校生で持たせた時に、その反動が大きいかもしれない。
- 答えがないということが一番不安なところでした。
- スマホの所持・未所持によって学校生活にも影響を及ぼす可能性があるが、現実の世界で良好な人間関係を築けるように声掛けをしていきたいです。



「片づけて叶う、 家族も私も心地いい暮らし」

「おうち日和」代表 ・ 整理収納アドバイザー
おおもと まさこ 氏



参加者の感想

- 子どもの物やおもちゃがどんどん増えていく中で、なかなか片付けが難しい日々を送っていたので、とてもためになるお話が聞けました。家に帰ってから、早速使っていないものを捨てたりして、少し家がすっきりして気持ちもすっきりしました。
- 日頃から、片付けについては意識しているのですが、子どもの片付けは、つい親が手を出してしまい、子どもにとってやりやすい片付けを少し工夫したいなと思いました。これから成長していくうえで「片付いている空間」というものが、心地よいものだという感覚を身に付けていけたらと思います。
- 先生の言葉一言一言にうなずくことばかりでした。スライドショーで分かりやすく説明してくれて、本当にきれいな部屋だと気持ちいいし、いる物もすぐ取り出せていいなと思いました。毎日コツコツと、まずは、タンスの中からの物といらない物に分けてすっきりさせたいと思いました。
- 片付けの基本やアクション数を減らすという考え方を知ることができてよかったです。きれいな部屋は、見ていただけで心が休まるし、子どもも自分で片付けをしてくれるとイライラもなくなり、みんなにとっていいですね。
- 家の中が片付くことで、自分も家族もより安定した生活をしていけるのだなぁと思いました。片付けの仕組みを作り、子どももきちんと片付けられる家にしていきたいです。

ひだまりいろ文化祭



12月2日(土)、生活介護事業所「ひだまりいろ」で文化祭が開催されました。事業所の入り口には、手作りのモニュメントが飾られ、訪れる人々を出迎えてくれました。建物内には、施設の利用者の個性を生かした作品が、それぞれのテーマごとに飾られていました。職員の方々が、制作にあたっての工夫や個性を生かして作った展示品について、一つひとつ丁寧に説明してくださいました。

写真はほんの一部です。
個性あふれる作品ばかりで、見ていてワクワクするものばかりでした。



「見えないから見えたもの」

ヒカリカナタ基金 理事長
社会福祉法人 岡山県視覚障害者協会副会長
社会福祉法人 岡山ライトハウス理事長

たけうち まさひこ
竹内 昌彦 氏



参加者の感想

- もし点字ブロックの上に物が置いてあったら、どかさうと思いました。「自分には関係のないこと」で終わらせてスルーするのではなく「誰かのために」を意識したいです。自分の時間を犠牲にしても、他の人のためになることをするという言葉を心に留め、普段の生活に活かしていきたいです。
- 目が見えない生活を不幸だと思わず、それさえも誇りをもって生きている竹内さんを見て、少しびっくりしました。私も自分の環境に誇りをもって自分や家族のために生きられる人になれたらいいなと思いました。小さなことから、いろんな人と助け合って生きていけるよう行動できる人になりたいです。
- 先生のお話を聞かせていただき、目が見えないという事はとても辛く、悲しい事だけれども、その思いをバネに生きがいを見つけ、頑張られている姿にとても感動しました。先生が言われていた人に優しく、優しい心を向けられる人になって下さいという言葉が印象強く、子どもにもそのような人になってほしいと思います。
- 実際に障がいがある方のお話を聞いて、解決策を考えたりその人たちがどう考えているのかを知ったりして、みんなに優しい社会をみんなで作っていけるようになりたいです。そのために、日頃から心に余裕をもって生活し、その余裕を周りの人を幸せにできる行動に使いたいと思いました。